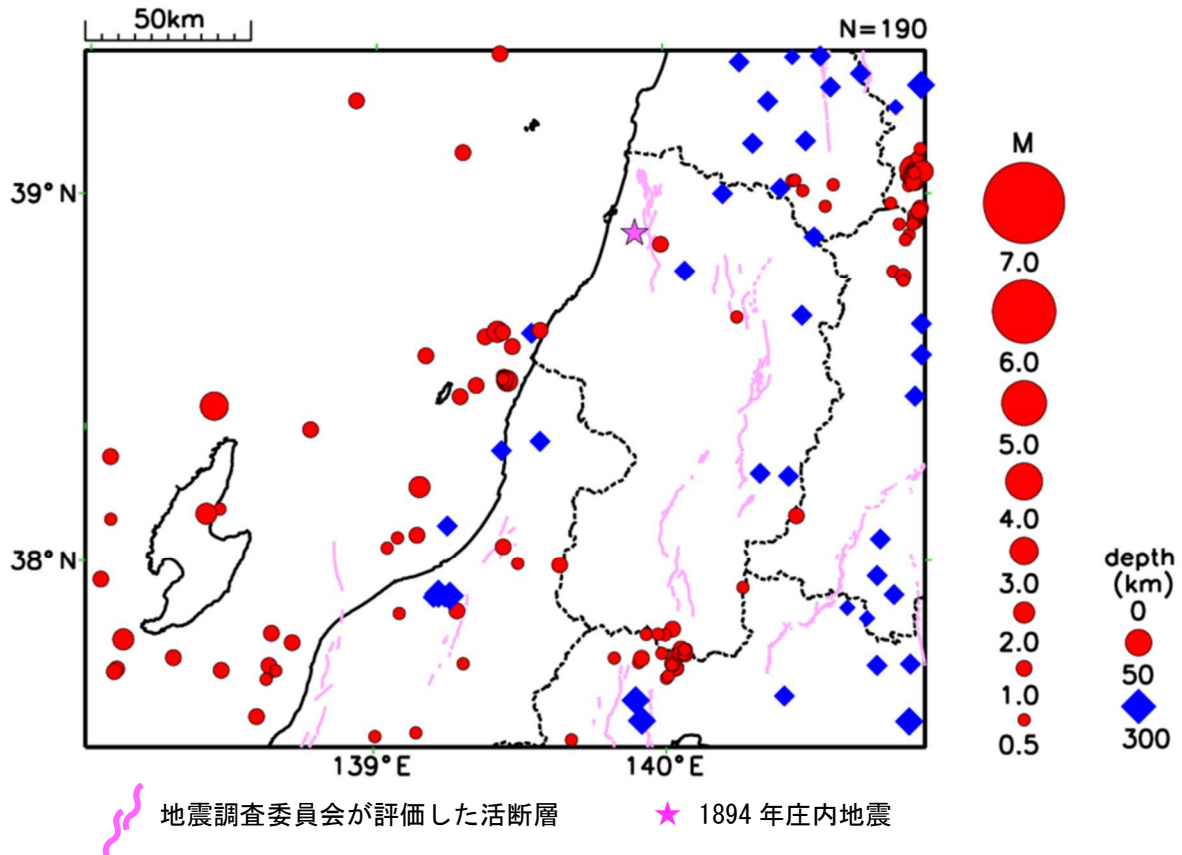


山形県月間地震概況（2023年6月）

山形地方気象台

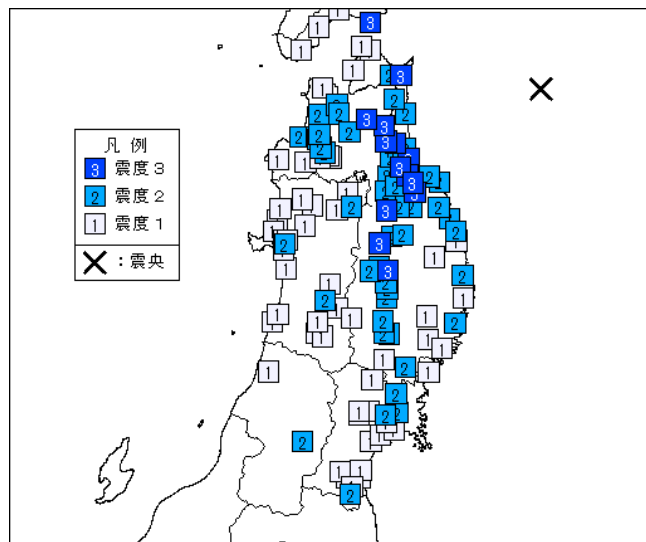
今期間(6月1日～30日)の震央分布図



【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は190回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は4回(前期間7回)であった。

17日09時26分に青森県東方沖の深さ30kmでM5.7の地震が発生し、北海道、青森県、岩手県で震度3を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度2～1を観測した。県内では中山町で震度2を観測し、酒田市で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

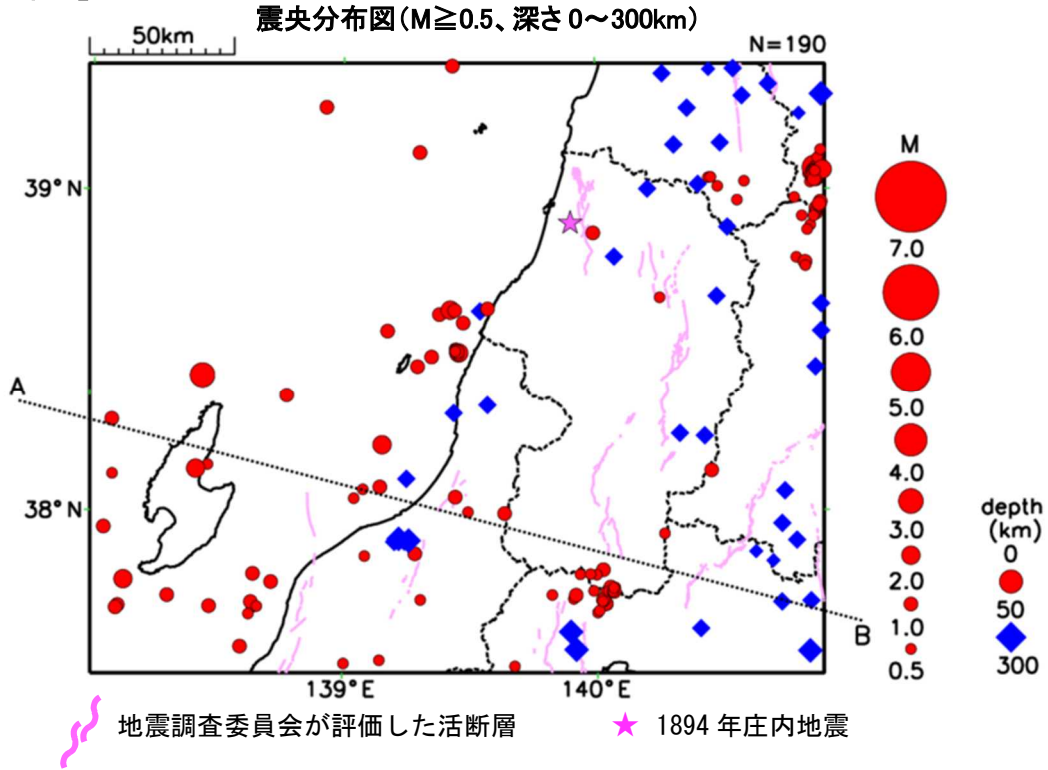


17日09時26分に青森県東方沖で発生した地震(M5.7)の震央(X)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

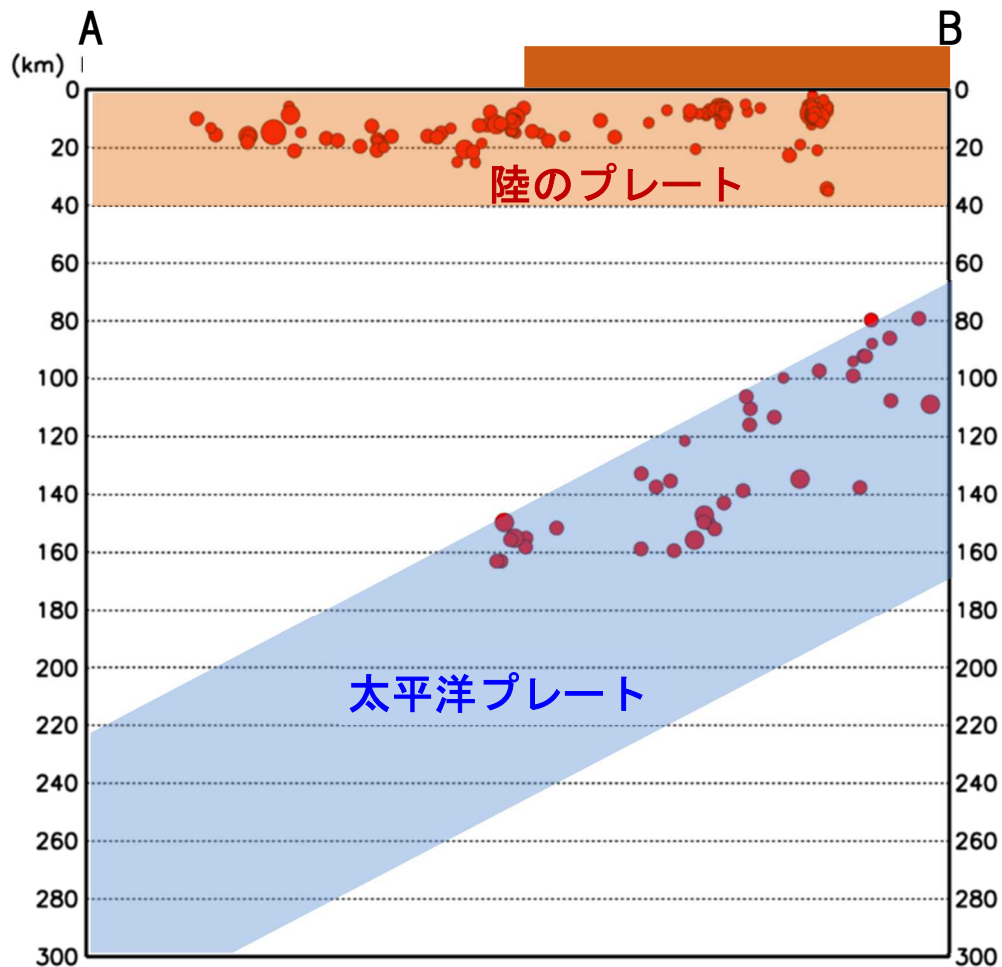
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年 6 月 1 日～2023年 6 月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年06月11日18時54分	苦小牧沖	42° 33.5' N	141° 54.9' E	136km	M6.2
山形県	震度 1 : 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 村山市中央* 中山町長崎*	酒田市飛鳥*	酒田市山田*	三川町横山*	
2023年06月17日09時26分	青森県東方沖	41° 08.0' N	142° 50.6' E	30km	M5.7
山形県	震度 2 : 中山町長崎* 震度 1 : 酒田市飛鳥*				
2023年06月24日09時58分	福島県沖	37° 17.1' N	141° 48.6' E	40km	M5.0
山形県	震度 1 : 上山市河崎* 中山町長崎* 南陽市三間通* 高島町高島*	米沢市駅前	米沢市アルカディア	米沢市林泉寺*	
2023年06月28日08時38分	日本海北部	42° 09.4' N	134° 28.0' E	518km	M6.3
山形県	震度 1 : 中山町長崎*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「津波フラッグ」を知っていますか？

令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による津波警報等が発表されたことをお知らせする取組が始まっており、山形県内でも既に導入されている海水浴場があります。

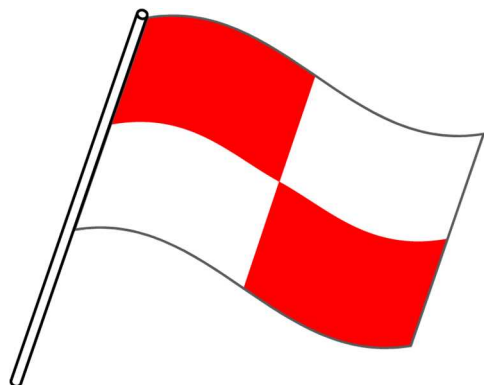
大津波警報・津波警報・津波注意報は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせできるようになります。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに高い所へ避難して下さい。

気象庁HPの下記のページには津波フラッグを紹介するコーナーもあります。津波から身を守るためにも、海へお出かけになる前に是非ご覧ください。

津波から身を守るために（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

津波フラッグのデザイン



長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。



(Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可)

津波から身を守るために

- 海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、速やかに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。
- 揺れを感じていなくても「津波フラッグ」を確認したり、大津波警報・津波警報・津波注意報を見たり聞いたりしたら、速やかにより高い安全な場所へ避難しましょう。
- 津波は繰り返し襲ってきます。また、第一波が最大とは限りません。避難後は最新の情報を確認し、津波警報等が解除されるまで避難を続けて下さい。
- 市町村が作成している津波ハザードマップでは避難先や避難すべき方向、避難にかかる時間も記載されています。是非活用してください。

